

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

21 世紀の経済（その 2、EQ を高めるために歴史や哲学を学ぶ）

大前 研一（ビジネス・ブレークスルー代表取締役）

1. リーダーシップを発揮するためには、IQ はもちろん重要ですが、皆の意見を集約し一つにまとめていく過程で、EQ（心の知能指数）も重要になってくる。つまり、「こいつがここまで言うのなら、一緒にやってみよう」と周りに思わせることができるかどうかです。そして、EQ を高めるために重要なのが、歴史や哲学、文化、美術といった教養、リベラルアーツです。ここでいう教養とは、知識としての教養ではなく、ソクラテスが弟子たちとの対話を通じて真実を見つけたような実践的な手法のことです。アリストテレスの論理学やソクラテスの対話で真実に迫っていくやり方は、2000 年の時を経て、再び重要になってくると思います。
2. AI はやり方さえ教えれば、瞬時に答えを導き出します。そんな時代に求められるのは、自分の頭の中にある構想、思い描いた世界を「見える化」すること。そのために、システム的な設計はできるようになる必要があります。また、見えている商売のコンセプトを実現するためのプログラミング技術も若いうちに身に付けた方がいいでしょう。
3. システム的な設計とプログラミングの基礎が分かっていると外部に丸投げせざるを得ず、結局自分の思った通りのシステムができなくなります。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2018 年 5 月 12 日号)

経営者のための危機管理

人間の五衰

1. 木が弱り衰えていくのには五つの段階がある、と安岡正篤先生は言う。「木の五衰」である。その第一は「懐の蒸れ」。枝葉が茂り過ぎると日当たりも風通しも悪くなり、木の根幹が弱ってくる。この状態が続くと、根が上がってくる。これを「裾上がり」という。そうなると、木は頭から枯れる。「末枯れ」である。「末」は梢のことである。梢が枯れてくると「末止まり」となる。成長が止まるのである。この頃になると、いろいろな害虫がつき始める。「虫食い」である。
2. この木の五衰を避けるには枝葉が茂ってきた段階で刈り取ること、即ち省くことだ、と安岡正篤先生は説く。人間も貪欲、多欲になって修養しない、つまり省かなくなると、風通しが悪くなり、真理や教えが耳に入らなくなり、善語善言を学ぼうとしなくなる。そして没落する。これを人間の「五衰」という。

(参考:「致知」:2018 年 7 月号)

ワンポイント経営アドバイス

女性活躍の温度差が競争力の差

鈴木 茂晴（日本証券業協会会長）

1. まったく同じ能力と資質のある男性社員と女性社員がいて、どちらか 1 人しか昇進できない場面があるとしたら、迷いなく女性を先に選ぶ、といった配慮も女性活躍を推進する段階では必要だ。組織の多様性を促進させるために女性を先に昇進させた方がメリットは大きいからだ。女性というだけで昇進対象から外されていた時代が長かった歴史を考えると、よいのではないだろうか。
2. 将来の生産年齢人口の減少を考えると、女性を組織できちんと活躍させられない企業は劣勢に立たされる時代が必ずやってくる。企業の女性活躍に対する温度差が今後、企業の競争力の差となって表れる。

(参考:「日経ビジネス」2018 年 5 月 28 日号)

古典に学ぶ

事の成るは一に勉強

(解説) かく列挙した秀吉の長所の中でも、長所中の長所と目すべきものは、その勉強である。私は青年子弟諸君にも、ぜひ秀吉のこの勉強を学んでもらいたく思うのである。事の成るは成る日に成るにあらずして、その由来するところや必ず遠く、秀吉が稀世の英雄に仕上がったのは一にその勉強にある。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)